

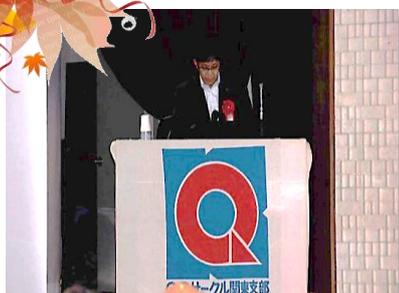


## QCサークル山梨地区

# 経営者フォーラム 実施報告書

- (1) 開催日時： 2018年 9月 28日 (金) 15:00 ~ 17:30
- (2) 開催場所： 山梨県JA会館 (山梨県甲府市飯田1丁目1-20)
- (3) 参加人数： 120名 (有料参加 95名、 講演・運営参加 25名、 交流会参加 58名)
- (4) 開催内容 【司会進行：森本 事務局】
  - ① 開会挨拶・・・ 山内 巖 幹事長
  - ② 主催代表挨拶・・・ 江藤 嘉彦 地区長
  - ③ ご講演・・・ コニカミノルタ株式会社 常務執行役 品質本部長 内田 雅文様  
テーマ：コニカミノルタの品質経営 ～コニカミノルタ流QCサークル活動「プロセス改善」～
  - ④ 閉会挨拶・・・ 菱川 哲行 副地区長
  - ⑤ 交流会挨拶・・・ 金丸 一 顧問 (甲府伊奈鋼業株式会社 代表取締役会長)
- (5) アンケート結果詳細は、次ページより、ご参照ください。

## 当日の様子



講演者：内田 雅文様



講演会 風景



開会挨拶：山内 幹事長



主催代表挨拶：江藤 地区長



閉会挨拶：菱川 副地区長



司会進行：森本 事務局



交流会 挨拶  
QCサークル山梨地区 顧問：金丸 一



交流会 風景



### 【次回に繋げる点】

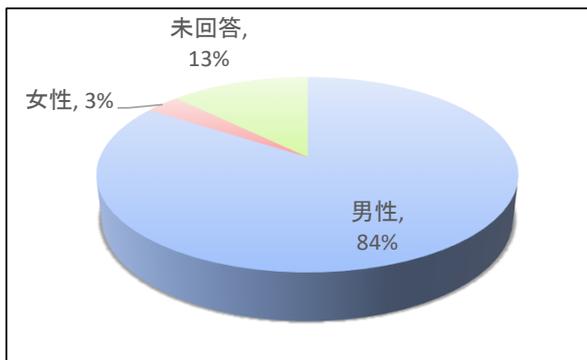
- ・ 投影資料上部が横断幕に被ってしまっていたり、講演中の照明が暗かったため、事前確認に細かいところを入れていく。
- ・ 質疑の時間を設けて、参加者全員で講演者の経験・知識を得られるようにする。

※たくさんの企業様からご参加、ご協力いただき、素晴らしい盛大な会となりました。皆さま、誠にありがとうございました。

# アンケート集計結果

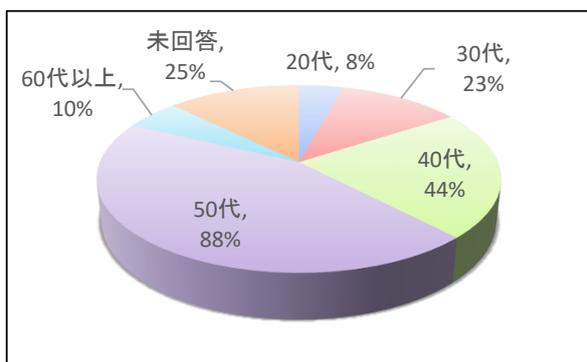
## ① あなたご自身と会社について、お聞きします。

### 1-1.性別

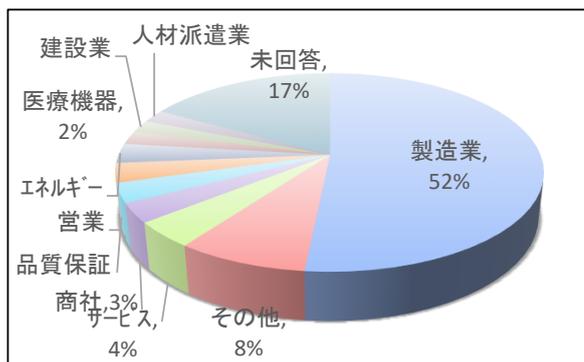


- 実施日  
2018年9月28日(金)
- 場所  
山梨県JA会館
- アンケート回答  
95名

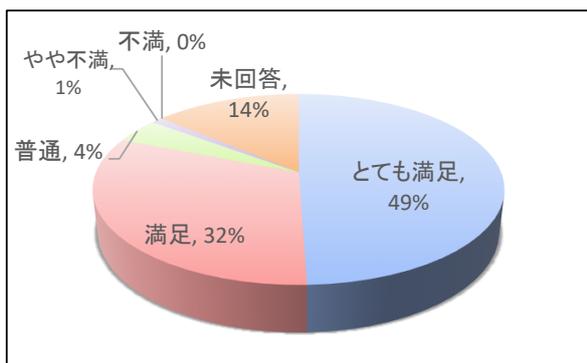
### 1-2.年齢



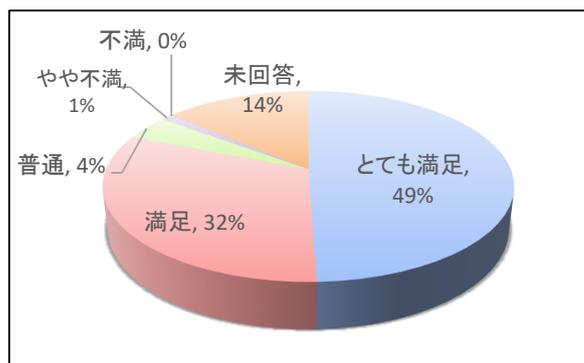
### 1-3.業種・仕事内容



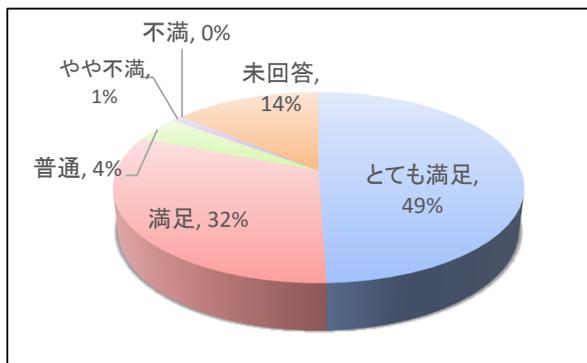
### 1-5.内容



### 1-6.講演時間



### 1-7.進行



## 良かった点・お気づきの点、ご意見、ご感想など（皆さんの意見を載せました）

### <この講演内容のどこに興味を持ちましたか？>

- ・ 価値を実現するために、プロセス改善を色々な場面で活用しているところ。型にハマらない取組み。
- ・ 社外より新しい風を入れるという点。
- ・ サークル活動が当初、やらされ感が強かったが効果が業績や自身の給料に反映され主体的、コミュニケーション向上、悪を隠さない団結、連携に繋がった課題。
- ・ 具体的な事例が多く、大変参考になりました。
- ・ 維新の会、自組織をチーム編成し活性化。テーマ件数カウントしない。進捗は管理しない。
- ・ バリューのイノベーション。
- ・ ピッキングシステムは良かった。
- ・ 6つのバリューの説明。
- ・ 製造ではなく販売部門でのサークル活動、成果。
- ・ 職場の風土改革をプロセス改善する。
- ・ 営業職とQC活動。
- ・ 風土変革によるやる気向上のために維新の会を発足して褒め合ったり、挨拶運動をしたり、残業をしない等をして会社を良くし機運が高まり、とても良い変革だと思いました。
- ・ 風土づくりの難しさ大切さ。
- ・ 課題提起、デザイン思考。
- ・ QC活動で社風が変化していく様を実体験を基にお話し頂いたところ。
- ・ 管理では無く支援。悪いところを隠さなくなった。  
貴重な改善ヒントを、お聞かせ頂きありがとうございました。
- ・ 社内の生々しい事例の紹介が良かった。
- ・ 職場の風土改革が出来ているところ。
- ・ QC活動で会社業績アップに繋がっていること。
- ・ 我々が取り組んでいる方向性と通じるものがありました。
- ・ 販社、障害者の改善活動。
- ・ 自分も新たな山に登りたいと感じた。
- ・ Deep Diving。(x2)
- ・ ムリに進めない進め方。
- ・ コニカミノルタ株式会社の経営理念について。
- ・ 販社におけるプロセス改善。風土改革までのプロセス改善(社員の意識向上、機運を高める運動など)
- ・ 丸の内(本社)へのプロセス改善の浸透についても、少し話を聞ければと思いました。
- ・ プロセス改善(QCサークル)の会社内の位置づけが、よく分かりました。  
きさくな内容で楽しく、分かり易かったです。
- ・ 販社での活動を「支援」して成果に繋がった実話に基づく苦労。
- ・ QCの進め方。
- ・ やらされ感の打破の方法に興味を持ちました。
- ・ 管理ではなく支援を行った点。QCストーリー：学校、会社では教えてくれない点。  
販売会社の社員の成長。多くの幹部が誕生。
- ・ 本音を交えて講演されたところ。
- ・ あえて、製造以外のQC活動の事例紹介及び難しさを紹介いただいたこと。
- ・ プロセス改善と6バリュー。活動の基本姿勢。
- ・ デザイン思考の部分が参考になった。
- ・ やる気を出させるための活動の進め方が参考になりました。改善からの人づくり。
- ・ コニカミノルタ流のQCサークル活動のプロセス改善活動の販売会社アプローチ。
- ・ 目的である会社を良くしたい、変えたいを実現する手段をトップで実践。
- ・ 6バリューの浸透、徹底のアプローチ。社会と環境課題に重きをおいた活動。
- ・ 販売会社や障害者の改善は、間接業務の改善に参考になった。  
間接の効率化、改善の取組みの具体例が参考になった。
- ・ プロジェクトメンバーの人数のところが。

- ・ プロセス改善にQC手法を取り入れるところ。
- ・ 維新の会発足→トップ現場の温度差。改善すること自体のプロセス。改善事例のプロセス。理解→創出。
- ・ 現場以外のQC活動を進める。モチベーション、切っ掛けづくり。
- ・ 講演内容が事例に基づいての説明だったため、身近に捉えられた。  
内田さんのトークがダイナミックで分かり易かった。
- ・ 介護のビジネスモデルの話。デザイン思考の話。
- ・ コニカミノルタの人財育成取組み。
- ・ 企業の活動内容と取組み。
- ・ 障壁→支援。
- ・ イノベーションを起こすための「デザイン思考」の発想に初めて聞く話だったので、  
実際の取組みの話を聞いて大変勉強になりました。
- ・ 風土改革の重要性を改めて感じることができました。
- ・ QC活動による考え方のステップアップ。
- ・ QCサークル活動(プロセス改善)を通じて、事業拡大、業績向上、人財づくりを達成している点。
- ・ 企業、風土を変革するために、社外の人材を生かすといった部分に興味を持った。
- ・ 組織の活性化策。
- ・ 管理は×、支援○、の思考。
- ・ Deep Diving(デザイン思考)という事象の捉え方、考え方。

### <講演会に対して、ご意見・ご感想がございましたら、ご自由にお書きください>

- ・ ありがとうございます。
- ・ 分りやすく良い講演でした。ありがとうございます。
- ・ Q&Aの時間が多少でも有れば良かったです。(×2)
- ・ 大変素晴らしい講話で大変参考になりました。ありがとうございます。
- ・ 取組みが頭打ちになり現場は動かない状況になったときに現場へ直接、足を運んだとありましたが、  
外部から見ていただけでは解らない事がたくさんあり、中に入り込んで共にする事により  
分かることが有ると思うので、とても大切な事だと思いました。
- ・ 非常に為になるお話でした。
- ・ 非常に高い意識のもと、経営を行っているのだと改めて実感致しました。よい勉強になりました。
- ・ 大変、有意義なお話を伺えて、参加してよかった。
- ・ 資料があれば、うれしいです。
- ・ 多くの世代に聞かせたほうが良い。
- ・ 楽しい話で聞きやすかった。
- ・ 内田様の講演はユーマアを交えて、とても聞き易い講演でした。ありがとうございます。
- ・ 職場重視の話は、勉強になりました。ありがとうございます。
- ・ 非常に楽しく聞かせて頂きました。
- ・ 6つのバリューの詳細を知りたかった。
- ・ スクリーンから資料がはみ出ている。横断幕が画面に掛かっている。
- ・ 1時間の内容の講演会で集中して聞けました。(最適な講演時間だと感じました)
- ・ 参考になりました。
- ・ 講演内容のサマリー(レジュメ)が欲しい。障壁、課題をどの様に乗り越えて行ったかの具体例を聞きたかった。

### <今後開催してほしいイベント等ございましたら、ご自由にお書きください>

- ・ 経験に基づいた経営者の講演。
- ・ 開催月をご一考願いたい。(今回は上半期最終月でしたので)
- ・ 働き方改革の具体策。
- ・ 参加者99%が男性でした。女性ももっと積極的に参加できるようなテーマも検討願いたい。

**\* アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。【QCサークル山梨地区運営一同】**